

令和8年2月27日（金）

令和7年度西日本地区重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会

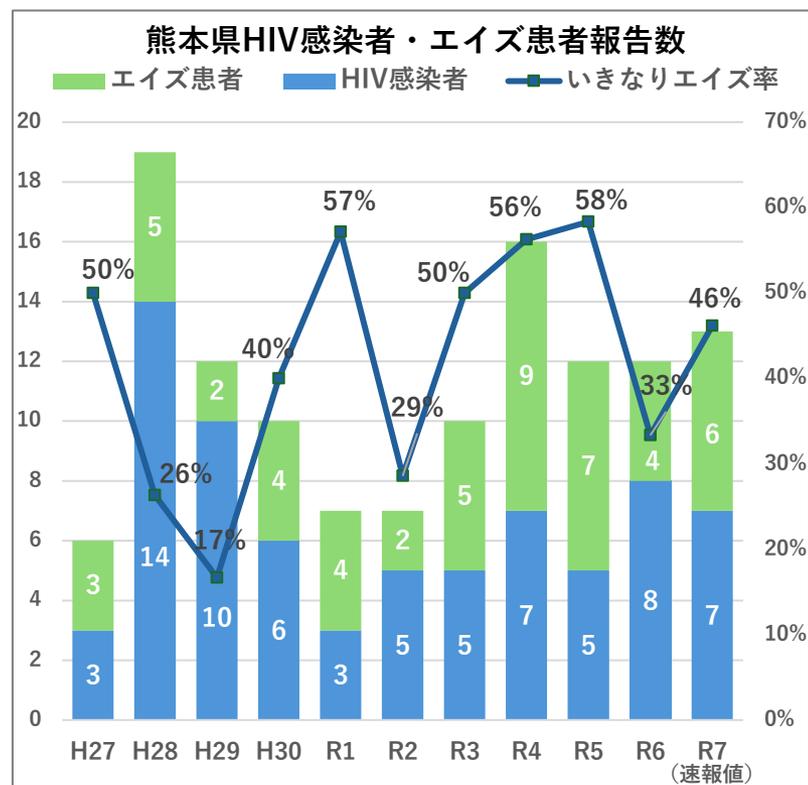
熊本市の 特徴と注力施策について

熊本市感染症予防課

1 特徴

HIV感染者・エイズ患者報告数

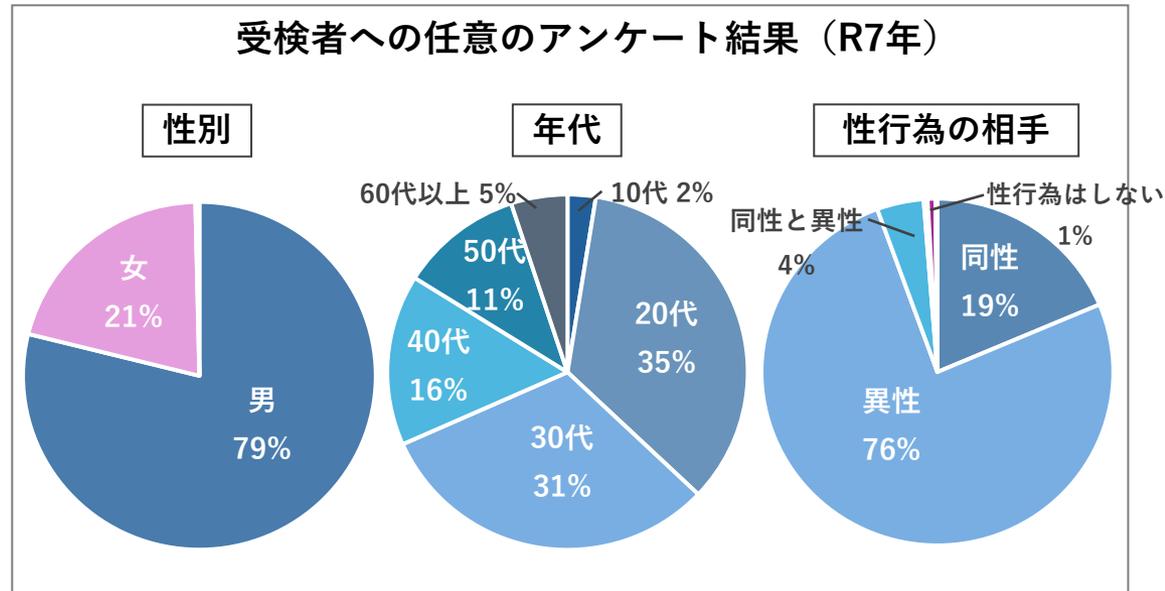
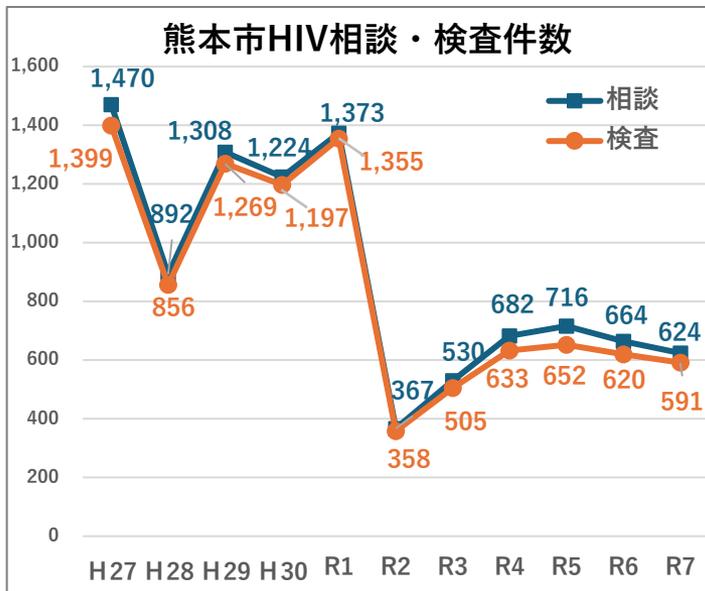
- 新規報告数は毎年10数名程度で推移しており、一定の発生が続いている。
- **いきなりエイズの割合**は、R6年では、33%と低下したが、依然として**全国平均の30%より高い**割合で推移している。
- **早期発見が不十分**なため、治療開始が遅れ感染拡大に繋がるリスクがある。



1 特徴

熊本市HIV相談・検査

検査日：火・水・木曜日 午前9時～午前11時 予約制



- ・ コロナ禍で検査体制を縮小し、現在は600件程度で推移。
 - ・ 受検者の8割が男性で、年代で見ると20代～30代が7割弱を占めている。
 - ・ 同性との性行為がある受検者が2割と、一定の割合を占める。
- ハイリスク層へのアプローチと検査行動の促進が、引き続き必要。

2

注力施策

施策① 郵送検査

検査項目：HIV・梅毒

実施件数：200件

実施回数：年2回

(6月HIV検査普及週間・12月世界エイズデー等)

※令和7年度は11月～より実施中

検査費用：550円（自己負担額）



保健所での検査を受けたくない・受けることができなかった層への検査機会の提供が可能となった。

今後は、**より効果的な周知方法を検討**していく必要がある。

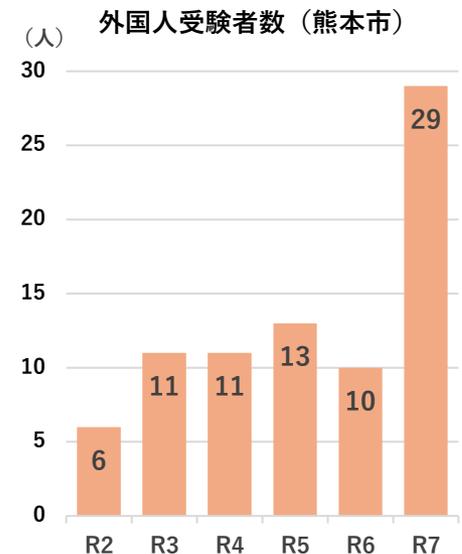
施策② 在留外国人専用の検査枠設置

厚生労働省「在留外国人に対するHIV検査や医療提供の体制構築に資する研究」班との協働事業

期間：令和7年8月～令和8年2月
第2・4木曜日（月2回）

予約：在留外国人専用の予約フォームより
申し込み（Web）
※研究班にて多言語対応版予約フォームを作成

周知：9 モンスター
熊本市国際交流振興事業団のホームページ
熊本市ホームページ



➡ 研究班の協力で、**検査申込書などの書類を多言語化。**
言語の壁を軽減し、外国人が安心して利用できる体制を整備できた。

施策③ 若年層への普及啓発

- 出前講座
(中学3年生を対象に、保健所職員が担当する)
- 講師派遣事業
(高校生・専門学生を対象に、産婦人科医・泌尿器科医を派遣し講演を行う)
- ピアエデュケーターとの協働
(熊本大学看護学専攻の学生と連携し、高校・大学学園祭でのピアカウンセリング活動、SNSによる啓発、オリジナル啓発物の作成を実施)